

図書館という、本	を借りるだけの施設と	思い込んでいる人が多い。	あまり知られてい	40
ないが、利用者に対し	情報や資料を提供する	という、もう一つの大きな	役割がある。これ	80
をレファレンス・サー	ビスという。簡単にいうと、	調査のお手伝い	ということである。も	120
し、仕事や課題研究な	どで調べ物が発生した	ときは相談するとよい。	探し物ならインター	160
ネット検索のほうが簡	単だという人がいるか	もしれない。しかし、	注意したいのはホーム	200
ページの中には間違っ	た情報が掲載してあ	たり、根拠のない数字	が引用してあったりす	240
る場合も意外に多いと	いう点だ。それに世間	にはネットにはない情	報が山ほどあるのだ。	280
例えば、昭和30年代	の日本全国のポストの	数を知りたいとか、自	分の住む県ではどのく	320
らい魚を食べていると	か、世界最古の広告	は何かといった質問	に対し、図書館では信頼	360
きる本や資料を明示し	て答えてくれる。た	だし、学校の宿題やク	イズの解答、法律や個人	400
的な質問などの問い合	わせには応じてく	れない。←		423
調査を手伝ってくれる	のが司書という存在	だ。彼らは一体どのよ	うに未知のことがらを	463
調べるのだろうか。実	は、図書館には多種多	様な参考図書類が所	蔵されている。とい	503
も学習や受験参考書と	は違う。分かりやすい	例でいうと百科事典や	図鑑、統計や地図など	543
である。つまり、ある	ことがらを調べるた	めに必要な部分を参	照する本のことだ。司	583
まずこういった資料に	当たる。例えば、各	県別の魚の消費量は、	総務省の家計調査とい	623
統計を使って知ること	ができる。もう一つ、	あまり知られていない	が、目録や書誌、雑誌	663
記事索引といった文	献を調べるための資	料がある。これには、	書名や記事の見出し、	703
著者名、出版社、発行	年月日、所蔵先とい	った情報が記してあ	る。調査のための本	743
や雑誌のカタログと	考えればよいだ	らう。最近では、多	くの公共図書館が各	783
館で所蔵している本	の目録をデータベース	化してネット上で公	開しているので、だ	823
れでも簡単に使える	ようになった。一	昔前までは、紙の	カードをつづってあ	863
るものから何時間も	かかって探したも	のだ。その最大の	ものが、国立国会	903
図書館が提供してい	る蔵書検索システ	ムである。同館は、	書籍だけで約930	943
万点、新聞、雑誌、	地図類まで含めると	約3600万点の蔵書	数を誇る	
日本一の図書館だ。	同館のサイトには、	調査のため有益な	情報が多数掲載	983
されているので一	度利用してみると	よいだろう。		998

子供のころ、友人と靴を投げて遊んだ。これで天気を占うのである。表向きになれば晴	40
れ、裏返れば雨になる。今から思えば何の根拠もない迷信のようなものだが、遠足の前日	80
などは、運動場にたくさん靴が飛んだものだ。天気に関する言い伝えは各地にあって、	120
科学的に説明できるものもある。よく祖母が、遠くの寺の鐘が聞こえると雨になると言っ	160
ていたが、これは前線が近くにあり、音が上空の暖かい空気の層との境で反響するからで	200
ある。信州では、子供がはしゃぐと雨になるというのが、低気圧が近づくとその前面は南風	240
となり、暖気が入って気温が上がるのでうきうきしてくると考えれば説明がつく。現代で	280
は、携帯電話やインターネットでいつでも自分の住む地域が明日晴れるか雨になるかを確	320
認することができ、とても便利になった。↓	340
気象庁では、アメダスやひまわりなどから得た情報を解析して予報を出している。前者	380
は、地域気象観測システムといって、降水量や風向、風速、気温や日照時間の観測を時間	420
や地域ごとに自動的に行う。観測所は全国に約1300か所あって、雪の多い地方では積	460
雪の深さも調べている。後者は、日本が打ち上げている気象衛星で、宇宙から地球の雲の	500
ようすを写真に撮って送ってくる。これによって、低気圧などの構造を直接見ることが可	540
能になった。このほか、電波を使って、半径数100キロの範囲にある雨や雲を観測する	580
気象レーダーや、ラジオゾンデという無線送信機を備えた気球を飛ばして観測を行ってい	620
る。また、全国の気象台や測候所では、いろいろな情報を細かく測定している。↓	657
気象庁では、このように集めた各種のデータをスーパーコンピューターで解析する。地	697
球全体を取り巻く大気の流れを物理学的な方程式を使って予測して、数分後の空気の状態	737
を求める。これを基に1日先、2日先と計算を続けていくと、1週間後の大気の状態を求	777
めることができるわけだ。観測機器の技術的な進歩によって一昔前に比べると、天気予報	817
的中率は随分と向上した。明日の天気なら約8割の確率で当てることができるため、非	857
常に重要な情報となっている。我々なら、もし予報が外れても雨に服をぬらす程度の被害	897
で済むが、農業や流通業などのビジネスの世界では重大な損害となることもある。農作物	937
に被害を与えたり、冷夏や暖冬の影響で衣料品が大量に残ってしまったりするからだ。	976

最近は、個人が自らのホームページを開設するようになり、昔なら日記帳につけていた	40
10 ような一日の出来事や感想などを、ブログに記すことが大変な人気となっている。パソコ	80
50 ンがあってインターネットに接続できれば、基本的にだれでも閲覧できるものだ。そこで	120
90 多くの読者に共感してもらいたいという気持ちが高まり、自分の考えや思いをもっと上手	160
130 に表現したいと望む人が増えているという。↓	181
170 文章を書くときの要点として最大の条件は、客観性を持つことである。第三者からの視	221
191 点で検証する過程が大切なのである。実際に実行してみると、客観的に文章を眺めること	261
231 がいかにも難しいかと痛感するはずだ。例えば、旅行に出掛けたときの話を題材とする。電	301
271 車から溪谷を見て、その景色が雄大で感動したと書かれている。しかし、一般的に作者が	341
311 楽しんだ思い出は独りよがりなものが多く、他人が読んでもそれほど面白いとは感じない	381
351 ものだ。自分の世界に入り込むのではなく、飽くまでも外側から描写することが大切であ	421
391 る。冷静に、風景がどう美しかったのか、それを見てどう感じたのかを表現してみる。そ	461
431 う意識すると、沈着な視点で自然に構成が作られるものである。文章は、生活の中で見聞	501
471 きた現象や背景、文化などが論理的に語られて、そこに鋭く秀逸な観察眼や豊かな人生	541
511 経験がつづられていて初めて評価されるのである。↓	565
551 次は評論文の書き方だが、これは初めに理屈が必要である。社会思想などの論理体系が	605
575 あって、それを明確に表すために証拠を挙げ、綿密に理論を積み重ねていく。自分の主題	645
615 を確証させるために作業仮説を立て、それを前提に勉強し、調査研究して検証していく。	685
655 難しいものでいえば、大学の学者による学術論文などはここに分類される。↓	720
695 ある意味では随筆に代表されるような個人的な文章と評論文では、前者のほうが難易度	760
730 は高いかもしれない。なぜなら、それには興味深い主題や面白さはもちろん、話法や修辞	800
770 法も必要となり、何より骨組みが自由なだけに独創性が大きな力を発揮するからである。	840
810 その人だけの観察眼で説明された話は、実に多くの読者を引き付ける。そんな名文を作成	880
850 するために、毎日眺める風景を可能な限り詳細に着眼し、その対象物について考察を巡ら	920
890 す訓練をしたいものである。	933
930	

毎日の生活の中で口	にしているお茶は、世	界の多くの国で愛され	ている飲料だ。真っ白	40
10	20	30		
で小さく、愛らしい花	をつけるツバキ科の樹	木が原料で、味わいも	香りも色も異なる種類	80
50	60	70		
となって商品となる。	あまり知られていない	が、日本茶・中国茶・	紅茶は、もとはすべて	120
90	100	110		
同じ葉から作られ、そ	の多くは産地がそのま	ま銘柄となって販売さ	れている。↓	156
130	140	150		
わたしたちが暮らし	の中で最も身近に接し	ているのは、どの家庭	でも大半が日本茶だろ	196
166	176	186		
う。その起源は、中国	からの渡来と我が国で	の自生の二つの説があ	るそうだ。喫茶の文化	236
206	216	226		
が始まったのは奈良・	平安の時代で、昔の書	物にも登場している。	最初は貴族社会での愛	276
246	256	266		
飲だったが、武家社会	に広がり、庶民も欲す	るようになった。その	後、茶道という独自の	316
286	296	306		
文化を作り上げ、せん	茶が日常の生活に登場	するのは江戸時代にな	ってからである。栽培	356
326	336	346		
は全国でなされ、朝夕	の温度差が大きく冷涼	な山間部が適している	といわれている。日本	396
366	376	386		
にはこの条件に見合う	場所が比較的多いため	、産地は自然に広がっ	ていった。↓	432
406	416	426		
次に、中国茶につい	てだが、その起源は奥	深い山中にあるといわ	れ、伝説によると、農	472
442	452	462		
業の神様がお湯を飲も	うと木陰で休んでいる	と、そこに茶葉が舞い	落ちて器に偶然入って	512
482	492	502		
しまった。それが香り	高く素晴らしい味だっ	たので、以降、飲まれ	るようになったといわ	552
522	532	542		
れている。日本と同じ	く、特権階級で愛され	たものが、やがて庶民	へ、そして世界に知ら	592
562	572	582		
れるようになった。後	にアメリカ合衆国や欧	州などへ輸出されるよ	うになり、歴史にも大	632
602	612	622		
きく関連しながら広が	りをみせた。↓			649
642				
最後に、イギリスで	発達した紅茶文化であ	るが、19世紀の半ば	に貴婦人の間で流行し	689
659	669	679		
たアフタヌーンティー	の習慣が起源とされて	いる。当時の上流社会	では朝食を多めに取っ	729
699	709	719		
たため、自然と昼食は	軽くなった。そのため	、社交の晩さんが始ま	る前におなかがすくの	769
739	749	759		
で、途中でお菓子と紅	茶を飲食する時間が必	要になったのである。↓		800
779	789	799		
名前は違うが、同じ	葉から作られる3種類	のお茶は、常に人との	会話とともにある。そ	840
810	820	830		
んな優雅で楽しい時間	を多く持つことは、毎	日の暮らしに彩りを添	えてくれるはずだ。安	880
850	860	870		
らぎと優しさを運んで	くれるティータイムを	、積極的に持ってみて	はいかがだろう。	918
890	900	910		

日本人は一般的に、	えびに総称される甲殻類が好きな民族だとい	われています。最大の	40
魅力は味だと推測でき	ますが、その形や色から	慶祝の象徴として古	80
影響も大きいと思いま	す。↓		93
えびの体表は頑丈な	殻で覆われ、頭と胸が	一緒になった部分と腹	133
関節が発達した足は歩	行用に5対で、それ以	外にも周囲を探る触角	173
る器官などを含めると	全部で26本もありま	す。骨格を持たないか	213
臓部分を保護していま	すが、筋肉も一緒に包	まれているため、少し	253
のが非常に困難です。	そこで脱皮を繰り返す	ことで大きくなります。	293
どは、力強い筋肉を使	って勢いよく腹部を曲	げ、扇子のような構造	333
びのいて逃げます。こ	うした行動は敵を驚か	せる効果もあるよう	373
に分布し、山間の溪流	から湖や沼、潮だまり	から深海まで、あらゆる	413
れています。↓			420
人類とのかかわりは	長く、古代文明が栄え	たエジプトで紀元前1	460
壁画に、いせえびが登	場しているそうです。	東洋の文献に初めてそ	500
紀元前8世紀の中国だ	とされています。その	書物には、大きさの違	540
び名が記されており、	古来より周辺で食べ親	しまれてきたことが分	580
「日本書紀」の参考資	料とするために編集さ	れた諸国の地方紙の中	620
の名前の由来、伝承な	どと一緒に登場するの	が最初だそうです。ま	660
もに、神々に献上する	品として重要視されて	きた歴史もあります。↓	691
えびが縁起物とされ	た理由には諸説があり	ますが、一つはひげや	731
の相を持つ老人の姿に	似ているためでしょう。	また煮炊きすると赤	771
び出ていることから、	めでたいに通じるとも	いわれます。正月用の	811
には不可欠な地域もあ	るようです。ことわざ	では「海老で鯛を釣る	851
費で大きく稼ぐ意味に	使われます。また数多	くの短歌や俳句、川柳	891
として描かれ、衣類や	陶器の柄などにも盛ん	に採用されてきました。	931
ですから、国民一人当	たりの消費量が世界で	トップというのも納得	969

童謡や唱歌が百年の時を越えて愛されるのは、日本人が育ててきた価値観や四季を感じ	40
るからだろうか。だれしも幼い日の思い出の中に、お母さんから教えられたり、友人とと	80
もに口ずさんだりした経験があるはずだ。世代を問わず、家族が共有できる貴重な財産で	120
もある。専門家に話を聞いてみると、その魅力として第一に挙げられるのは、詩の美しさ	160
だという。推こうが重ねられた言葉は無駄がなく、情景が目には浮かび、自由な想像を描け	200
るのだそうだ。その日本語は音符の上にはのると、優しい響きと美しい旋律となる。また、	240
もう一つのよさは、子供も大人も一緒に覚えられる分かりやすさだ。決して難しい内容で	280
はなく、自然や生活習慣などが表現されている。心の中にある原風景といってもいいだろ	320
う。例えば、雨降りの歌は、お母さんが傘を持って迎えに来てくれるのが楽しいという話	360
だ。これが自分の思い出や季節感と強く結びついていると、人生と深く重ね合わさり、懐	400
かしさをも運んでくれる。四季の移ろいを大事にする細やかな視線は、この国独特の感性	440
である。←	445
春になると、その到来に気づいた喜びや花を見る楽しみが、詩情豊かに歌われる。菜の	485
花畑、小川の流れ、虫や鳥たちの動き、若芽など、生命力に満ちた詩が描かれている。夏	525
は海の題材が圧倒的に多い。四方を海に囲まれている島国だからだろうか。彩りが深まる	565
秋は、野山が赤色や黄色に染まった華麗な美しさを表現している。その風雅な趣とは裏腹	605
に、暮れ行く季節の寂しさやもの悲しさは、郷里を離れた人の望郷の思いを駆り立てるの	645
だ。冬は、凍るような寒さや閑散とした景色の中に、豊かな題材を見いだしている。空気	685
が澄み渡る夜の星座や、雪が降った静かで真っ白な風景が描かれている。←	719
日本人は、古くから和歌に親しむ習慣を持っている。この背景が、童謡や唱歌が生まれ	759
る要因なのかもしれない。作者は、小説家や音楽家、詩人であった。彼らは、昔から継承	799
された伝統や文化を理解していたので、我が国の美しい情景描写を言葉や旋律にのせるこ	839
とができたのだろう。内容には作り手の主観が入らず、聞く側の想像力を刺激する物語と	879
なっている。世代という垣根を超えた文化的遺産といっても過言ではない。時代が移って	919
も変わらない魅力を携えて、心の中に生き続ける宝を、未来へ手渡すために歌い継いでい	959
きたい。	963

子供のころ疑問に思	ったことがあります。	たき火などで木を燃や	すと灰になりますが、	40
炭は真っ黒に焼いてあ	るように見えても、形	は素材そのもので、組	織も硬く締まっていま	80
す。焦げたような状態	から、木より長く燃え	続けるのも不思議でし	た。↓	113
両者の違いは酸素の	作用によります。キャ	ンプファイアを代表と	する大型のたき火は、	153
一般的に屋外の広々と	した場所で行います。	近隣に建造物もないほ	うが安全です。人工的	193
な遮断が少ない自然の	中では、常に新鮮な空	気が多量に循環してい	ます。木材は普通、約	233
260度から800度	で炭化が始まるよう	ですが、このとき揮発し	たガスは、酸素の量が	273
多いほど盛大に燃え上	がります。キャンプ	ファイアが劇的なのは、	鑑賞する側の気分が高	313
揚しているという理由	だけでなく、大抵は酸	素が豊富な所で行うた	めに、火力が強いから	353
です。それでは少ない	場合はどうでしょう。	高温になってガスが揮	発しても、そこに火は	393
つきません。木材は蒸	し焼き状態になり、組	織は硬くなって残りま	す。これが炭作りの原	433
理です。しかも、結晶	化すると無数の穴が開	き、実質的に表面積が	広がって木材より火も	473
ちもよくなります。人	間の創意工夫か偶然の	産物かは分かりませ	んが、大変優れた発見で	513
あることは事実でし	ょう。↓			526
ところで、日本人が	炭とかかわってきた歴	史は、世界中のどの国	よりも長く密接だとい	566
われています。現存す	る最古の物は、愛媛県	にある洞くつで人骨や	石器と一緒に発見され	606
たようで、使用された	のは約30万年前と推	定されています。農耕	生活を営むようになって	646
た人々が、煮炊きの燃	料として日常生活の中	に取り入れたのでし	ょうか。奈良時代になる	686
と、貴族たちが冬の暖	房に火鉢を使うよう	になります。焼き物や金	属、硬い木などを用い	726
て、中が空洞の四角や	丸形の器を作り、断熱	材となる灰をたっぷり	入れた上に、おこした	766
炭を置くのです。煙も	炎も少ないため、木造	建築には非常に適した	暖房器具だったよう	806
す。↓				809
現在では、炭を生活	燃料に使う家庭は少な	いと思います。しかし、	魚のうまみを逃さず	849
にむらなくしんまで焼	くには最適です。日本	料理の専門家などは、	こうした遠赤外線の効	889
果を知っていて、少々	取り扱いが面倒でもあ	えて使う場合が多いよ	うです。さらに脱臭、	929
除湿、空気や水の浄化、	冷蔵庫内の野菜の鮮	度保持などにも優れた	力を発揮するため、新	969
たな用途も次々に開発	されているそうです。			989

ある日、書齋を整理していたら、千代紙が張られた小箱を見付けました。入っていたの	40
は、幼い字で「肩たたき券」と書かれた一枚の紙切れです。長女が小学生のとき、父の日	80
に贈ってくれた物です。当時はもったいなくて使えませんでした。その娘も今では社会人	120
となり、来春には結婚する予定です。小さいころから手先が器用だったので、多分菓子な	160
どの空き箱に、自分で千代紙を張ったのでしょう。赤い地色に、小さな姉さま人形を幾つ	200
も散らしたこの柄は、彼女がいちばん気に入っていたものです。たしか東京の専門店で購	240
入したと記憶しています。←	253
ある研究者によれば、千代紙は京都で栄えた公家文化の中で誕生したそうです。高貴な	293
姫君たちが贈り物の上にかけたり、小間物を包装したり、和歌などを書くために作られた	333
とされています。それが江戸時代に諸国の大名家に伝わり、やがて町人の間にまで広まっ	373
たようです。呼び名の由来には、初期の千代紙は、松竹梅、宝尽くし、鶴亀などのおめで	413
たい柄が多かったため、千代と命名されたという説や、当時「千代田」という別名で呼ぶ	453
人も多かった江戸城で、非常に愛好されたことに由来するという研究者もいます。さらに	493
戦国時代に、内助の功で夫を支えた良妻の名前を使ったなどの諸説があるようですが、ど	533
れも真偽は定かではありません。←	549
江戸時代、その製造工程には木版が使われたそうです。板に図案を彫り込み、突起して	589
いる部分に色を乗せ、上から和紙を押しつけて作られたようです。これは浮世絵などと全	629
く同じ工程です。木版刷りの技術が飛躍的に発達したからこそ、庶民にも手が届く存在と	669
なったのでしょうか。同時に、職人たちが技や丹精を込めた数々の名品も生まれたと思いま	709
す。しかし、物を包んだり、紙細工を楽しんだり、娘のように箱に張ったりと、飽くまで	749
実用品だったため、人々にじっくり鑑賞される機会にあまり恵まなかったのが残念でな	789
りません。千代紙の最大の魅力は、何といても図柄でしょう。公家たちが好んだ衣服の	829
文様に似た落ち着いた雰囲気なら京風、麻の葉や流水、矢羽根や市松などのいきな意匠は	869
江戸好みだそうです。←	880
娘が小箱に張ったのは現代版の量産品ですが、それでも伝統的な模様には人を引き付け	920
魅了する美しさがあります。一生の宝物として大切にしたいと思えます。	953



日本では、至るところで自動販売機を見掛	けます。しかし海外では、その台数が我が国	40
ほど多くないことに加え、大半がオフィスビ	ルや学校、空港、飲食店などの屋内に設置さ	80
れているため、街中で見ることはほとんどあ	りません。特に、開発途上国では基礎となる	120
電気、電子と機械技術の融合や治安の関係か	らか、日本のような多機能販売機はほとんど	160
ないうえ、台数自体も少なく、あったとして	もガムやチョコレートといった、嗜好品や新	200
聞など、単純な機構のものに限られています。	↓	222
その起源、歴史上で最初に登場する自動販	売機ではないかといわれているのは、紀元前	262
215年ごろ、古代エジプトの神殿に設置され	た聖なる水を売るための装置です。それは	302
投入された硬貨の重みで内部にある受け皿が	傾き、それが元に戻るまで弁が開いて蛇口か	342
ら水が出る仕組みでも使われているそうです。	その後、1615年にはイギリスでたば	382
こ、フランスではワインの販売機が作られま	した。日本で初めて作られたのは1904年	422
で、切手とはがきの販売とポストの三つの機	能を一体化したユニークなものでした。これ	462
は現存する日本最古のものとされ、現在でも	通信総合博物館に所蔵されています。↓	500
その後、日本の自動販売機産業はお菓子や	飲料を売るものを中心に展開していきます。	540
中でも爆発的ブームの契機になったのが、1	957年に開発された噴水型ジュース自動販	580
売機です。これは10円玉を投入すると一定	量の飲料が紙コップに注がれて、機械上部に	620
人目を引くように噴水が取り付けられていた	ことから、そう呼ばれたようです。現在のよ	660
うに、ボタン選択によって複数の商品が取り	出せるものは、1925年にアメリカで開発	700
され、乗車券を販売する自動券売機開発のき	っかけにもなり、日本の社会に広く普及しま	740
した。また中に入っている商品を貯蔵したり、	取り出せたりできる機構の技術革新によっ	780
て、1975年ごろから急速に普及していき	ました。主力商品といえる飲料分野では、缶	820
コーヒーの登場を契機に、世界的にも例を見	ない温かいものと冷たいものが1台の機械で	860
販売できる缶飲料用の機械が開発され、普及	促進に貢献しました。さらに原料を調合して	900
紙コップなどで販売するタイプのもは、イン	スタントのものから機械の中でコーヒー豆	940
をひくミル付きのものなどへと変遷し、消費	者の嗜好の変化に対応したのです。こうして	980
日本は自動販売機大国となったのです。		998

温暖化とは、わたしたち人間の活動が活発になるにつれて、温室効果ガスが大気中に大量に放出され、地球全体の平均気温が上昇する現象のことをいいます。その原因となっている代表的なものは、メタンガス、フロンガス、亜酸化窒素などですが、いちばん多くを占めているのは二酸化炭素です。これは、石油や石炭などを燃やすと出てくる物質のことです。←	40
この温室効果ガスは太陽の光をよく通しますが、赤外線を吸収するため、地球の平均気温は15度ほどに保たれてきました。もしも地球上にこれがなかったとすれば、マイナス18度ぐらいになり、生命の存在できない極寒の星になっていたはずですが、なぜなら、まず太陽から届く日射は大気を素通りし地表で吸収、加熱されます。そこから赤外線の形で放射された熱を温室効果ガスが吸収し、その一部を再び下向きに放射して地表や下層大気を加熱するという仕組みにより、生物の生存に適した気温に保たれていたからです。ところが近年では、産業の発展や森林の開拓など、わたしたち人間の活発な活動に伴い、石油や石炭、ガスなどを大量に燃やした結果、地球を覆う温室効果ガスの濃度が増加し、大気中に吸収される熱が増えたことによって、気温上昇が進行しています。これが地球温暖化です。←	204
世界的に見ても、特に20世紀に入ってからには温室効果ガスが急速に増加しています。そして、これがもたらす地球温暖化は自然の生態系や人間社会に大きな影響を及ぼすとともに、人類の生存さえも揺るがす大きな問題となっています。このままのペースで温室効果ガスが増え続けると、2100年には地球の平均気温はおよそ1度から6度ほど上昇するのではないかとされています。そうすると、具体的には次のようなことが起こると懸念されています。まず南極の氷が解けたり、海水の膨張によって、広大な面積の陸地が海に沈んだりする可能性があります。集中豪雨や干ばつが増加すると同時に、水の需給のバランスが崩れ、水資源の格差が世界的に拡大するおそれがあります。そして病気や害虫などの発生によって植物や穀物に被害が出ると同時に、世界的な飢餓が起こる可能性があります。そうならないために、現在、世界各国が温室効果ガスの排出、削減などに向けた対策に取り組んでいます。わたしたち一人一人もエネルギーの無駄遣いをなくす努力が必要です。	570